

火山災害に関する意識調査

(結果概要)

1.意識調査の概要

■調査の目的

吾妻山・安達太良山における噴火対応・緊急減災対策を検討するうえでの基礎資料とするため、隣接する磐梯山を含む3火山周辺地域の火山噴火や防災対策に関する住民防災意識の把握・分析を行い、今後の噴火対応・緊急減災対策を円滑に推進していくための対策の方向性を整理するものである。

■調査の対象

3火山の周辺の11市町村に在住の20歳以上の男女（表1.参照）

■調査手法

Web調査と調査票方式を併用。

- Web調査：多数のサンプルを安価に調査可能である。
今回は、人口5万人以上の市に対して実施
- 調査票方式：人口が少ない場合に有効。
今回は、人口5万人未満の市町村に対して実施。

調査票方式は、

- ①市町村より配布
- ②日本郵便タウンプラスによる配布

■回収状況

- 目標回収サンプル数2,000を上回る2,577件の調査票を回収した。
- Web調査は高齢者の割合が少なく、調査票方式は高齢者の割合が多い傾向にある。

表3. 市町村別回収サンプル数

	Web調査		調査票配布				回収率
	市町村	目標回収サンプル数	回収サンプル数	市町村	目標回収サンプル数	回収サンプル数	
	福島市	400	472	本宮市	100	328	31.1%
	米沢市	200	206	大玉村	100	345	32.8%
	二本松市	150	78	猪苗代町	100	116	38.7%
	郡山市	400	433	磐梯町	100	138	12.5%
	会津若松市	200	256	北塩原村	100	113	56.5%
	喜多方市	150	92				
	小計	1,500	1,537	小計	500	1,040	28.1%
				総計	2,000	2,577	

表1. 対象火山と市町村

対象火山	都道府県	市町村
吾妻山	山形県	米沢市
		福島市
安達太良山	福島県	大玉村
		二本松市
		本宮市
		郡山市
		北塩原村
磐梯山	福島県	猪苗代町
		磐梯町
		会津若松市
		喜多方市

表2. 市町村別、年代別回収サンプル数

年代別	全体	年代別						
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
全体	2577	256	534	603	539	420	200	
① 福島市	472	73	128	131	88	39	13	Web調査
② 米沢市	206	37	53	54	41	16	5	
③ 大玉村	345	6	34	44	90	116	48	
④ 二本松市	78	13	22	21	16	6	0	Web調査
⑤ 本宮市	328	10	65	70	58	76	38	
⑥ 郡山市	433	49	126	134	85	32	7	Web調査
⑦ 北塩原村	113	1	2	17	31	30	28	
⑧ 猪苗代町	116	8	10	20	23	29	25	
⑨ 磐梯町	138	2	6	16	31	46	35	
⑩ 会津若松市	256	45	65	74	51	21	0	Web調査
⑪ 喜多方市	92	12	23	22	25	9	1	
全体	100.0%	9.9%	20.7%	23.4%	20.9%	16.3%	7.8%	
① 福島市	100.0%	15.5%	27.1%	27.8%	18.6%	8.3%	2.8%	Web調査
② 米沢市	100.0%	18.0%	25.7%	26.2%	19.9%	7.8%	2.4%	
③ 大玉村	100.0%	1.7%	9.9%	12.8%	26.1%	33.6%	13.9%	
④ 二本松市	100.0%	16.7%	28.2%	26.9%	20.5%	7.7%	0.0%	Web調査
⑤ 本宮市	100.0%	3.0%	19.8%	21.3%	17.7%	23.2%	11.6%	
⑥ 郡山市	100.0%	11.3%	29.1%	30.9%	19.6%	7.4%	1.6%	Web調査
⑦ 北塩原村	100.0%	0.9%	1.8%	15.0%	27.4%	26.5%	24.8%	
⑧ 猪苗代町	100.0%	6.9%	8.6%	17.2%	19.8%	25.0%	21.6%	
⑨ 磐梯町	100.0%	1.4%	4.3%	11.6%	22.5%	33.3%	25.4%	
⑩ 会津若松市	100.0%	17.6%	25.4%	28.9%	19.9%	8.2%	0.0%	Web調査
⑪ 喜多方市	100.0%	13.0%	25.0%	23.9%	27.2%	9.8%	1.1%	

2.集計・分析結果

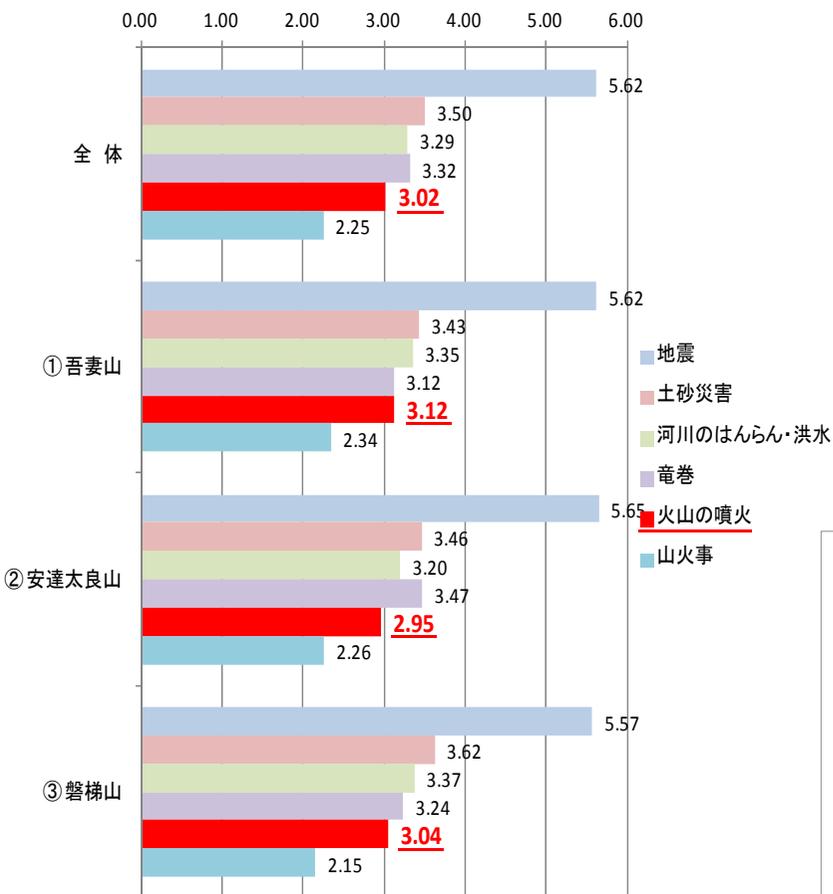
・吾妻山・安達太良山・磐梯山周辺地域における火山噴火に対する「意識」「知識」「備え」の現状

■脅威を感じる自然災害

問1：6種類の自然災害に対して、今あなたが不安に感じている順にご記入ください。
(地震、土砂災害、洪水、竜巻、火山の噴火、山火事)

● **他の自然災害と比較して「火山噴火」に対して「不安を感じている人」の割合は低位にある。**

グラフ1.脅威を感じる自然災害



■災害関連情報の認知度

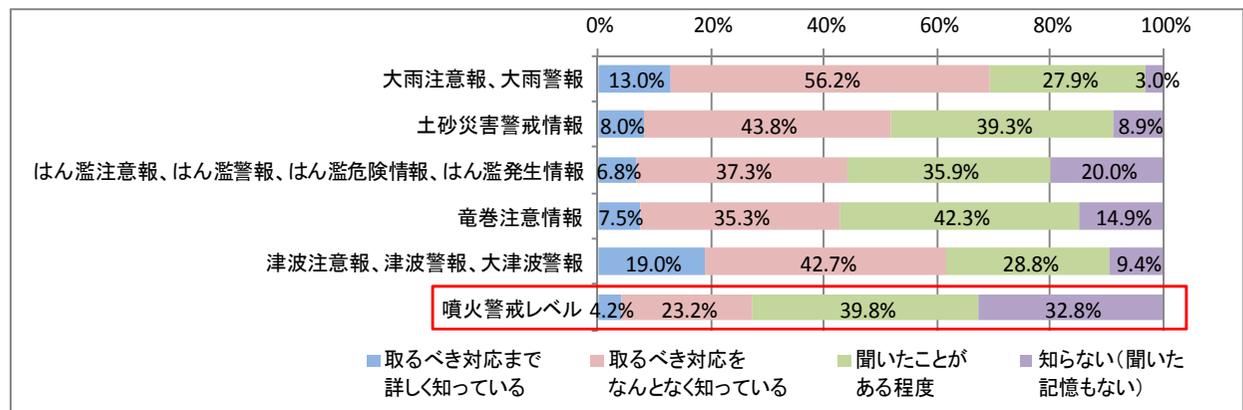
問2：下記6種類の「注意報」や「警報」などをどの程度ご存じですか？

- 取るべき対応まで詳しく知っている
- 取るべき対応をなんとなく知っている
- 聞いたことがある程度
- 知らない(聞いた記憶もない)

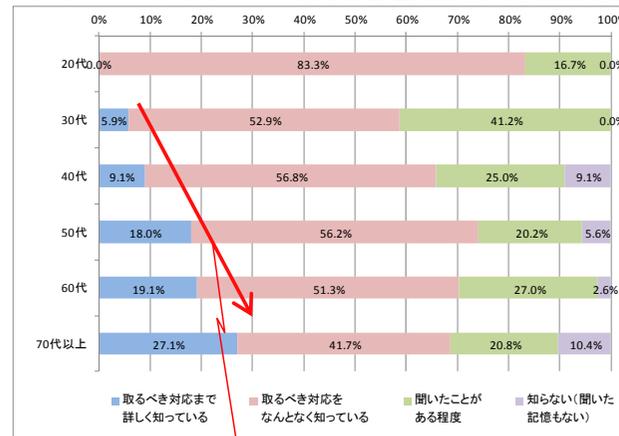
<それぞれ1つずつ回答>

● **災害関連情報の内、「噴火警戒レベル」の認知度は際立って低い。**
● **他の情報と比較して、高齢者に対する認知度も低い**

グラフ2.災害関連情報の認知度

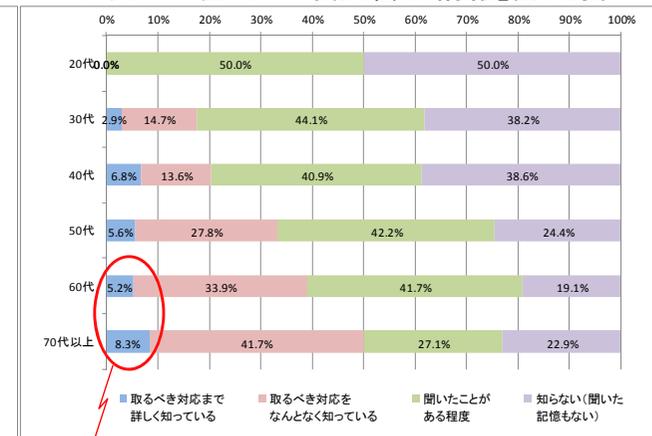


グラフ3. 世代×「土砂災害警戒情報」認知度



土砂災害警戒情報は若年層の認知度が低く、高齢者程認知してる傾向

グラフ4. 世代×「噴火警戒情報」認知度



噴火警戒レベルは高齢者の認知度も低い

2.集計・分析結果

・吾妻山・安達太良山・磐梯山周辺地域における火山噴火に対する「意識」「知識」「備え」の現状

■火山ハザードマップ・防災マップの保管状況

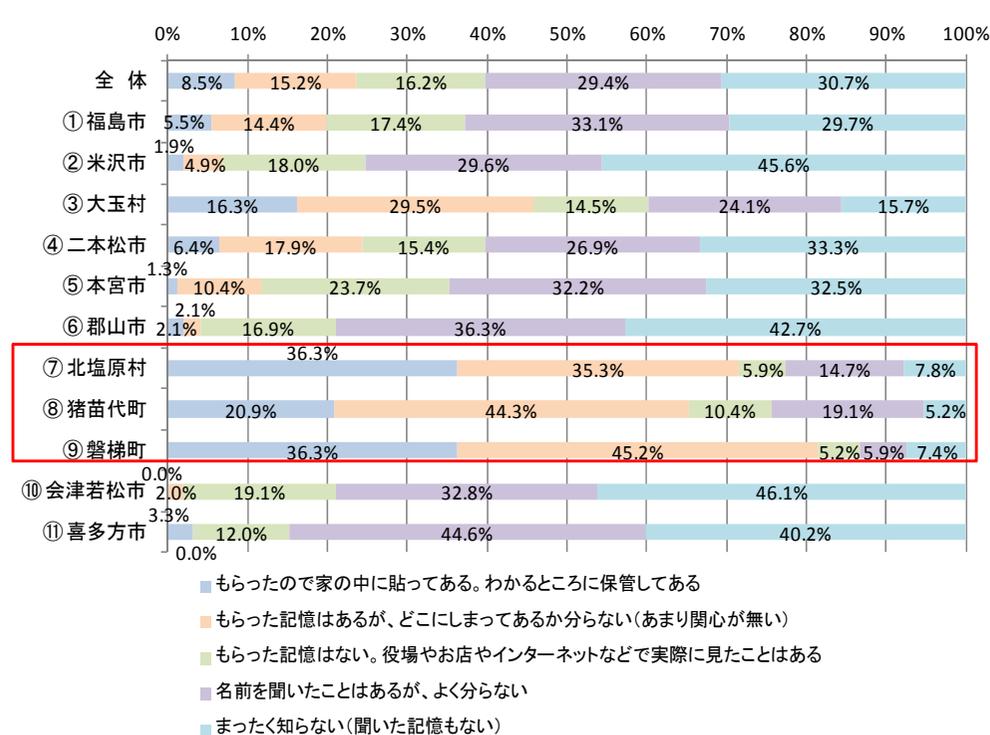
問3：火山のハザードマップや防災マップをもらいましたか？

- ・もらったので家の中に貼ってある。わかる場所に保管してある
- ・もらった記憶はあるが、どこにしまってあるかわからない
- ・もらった記憶はない。役場やインターネットなどで実際にみたことはある
- ・名前は聞いたことはあるが、よく分らない
- ・まったく知らない

〈1つ回答〉

- ハザードマップ・防災マップの保管率は配布直後であっても30～40%程度にとどまる。
(磐梯山では北塩原村、猪苗代町、磐梯町では2013年に更新版マップを全戸配布)
- マップの保管率は10年間程度でほぼ半減してしまう。
(他の市町村で配布されたのは、平成13～14年)

グラフ5. 火山ハザードマップ・防災マップの保管状況(市町村別)



■火山噴火に対する警戒意識

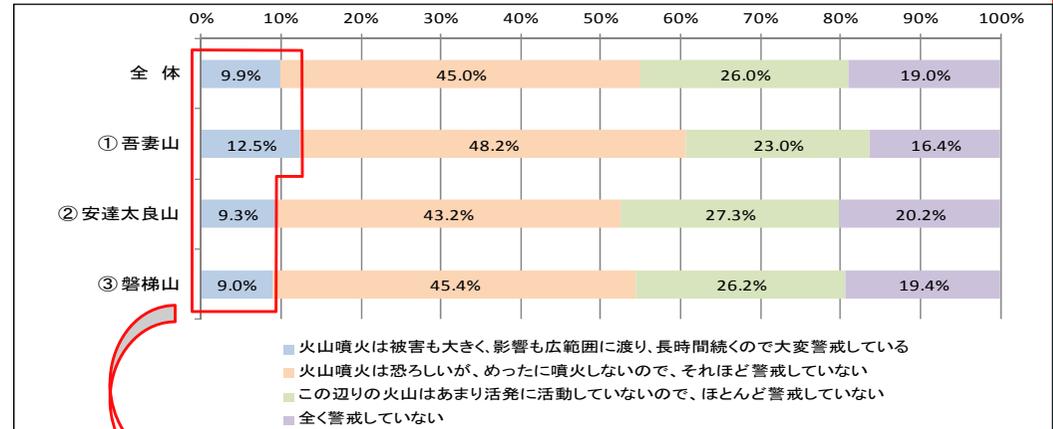
問4：火山噴火に対してあなたはどの程度警戒していますか？

- ・火山噴火は被害も大きく、大変警戒している
- ・火山噴火は恐ろしいが、それほど警戒していない
- ・あまり活発に活動していないので、ほとんど警戒していない
- ・全く警戒していない

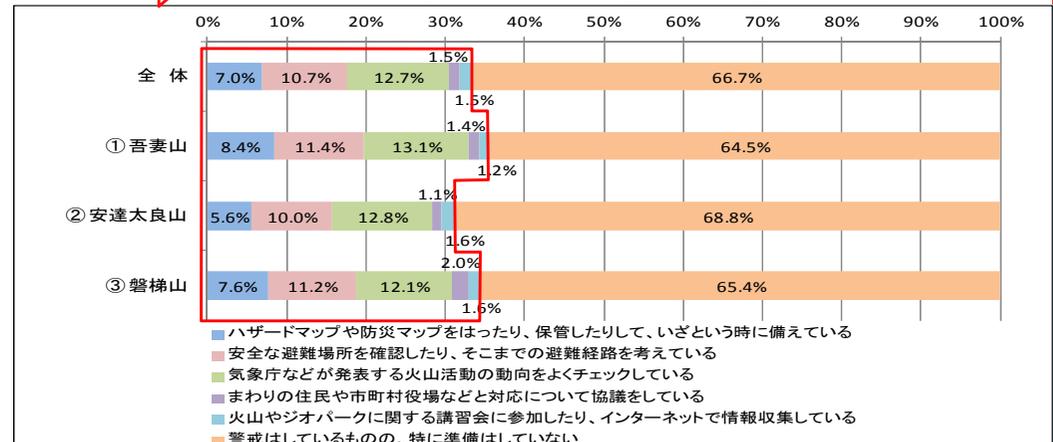
〈1つ回答〉

- 「火山噴火は恐ろしい」と約半数が認識しているが、それに対して「警戒している」人は約10%に減少する。
- そのうち、何らかの準備をしている人は、約30%に過ぎない。

グラフ6. 火山噴火に対する警戒意識(3火山別)



グラフ7. 「火山を警戒している人」の「備え」の状況



2.集計・分析結果

・吾妻山・安達太良山・磐梯山周辺地域における火山噴火に対する「意識」「知識」「備え」の現状

■火山噴火に伴う現象の認知度

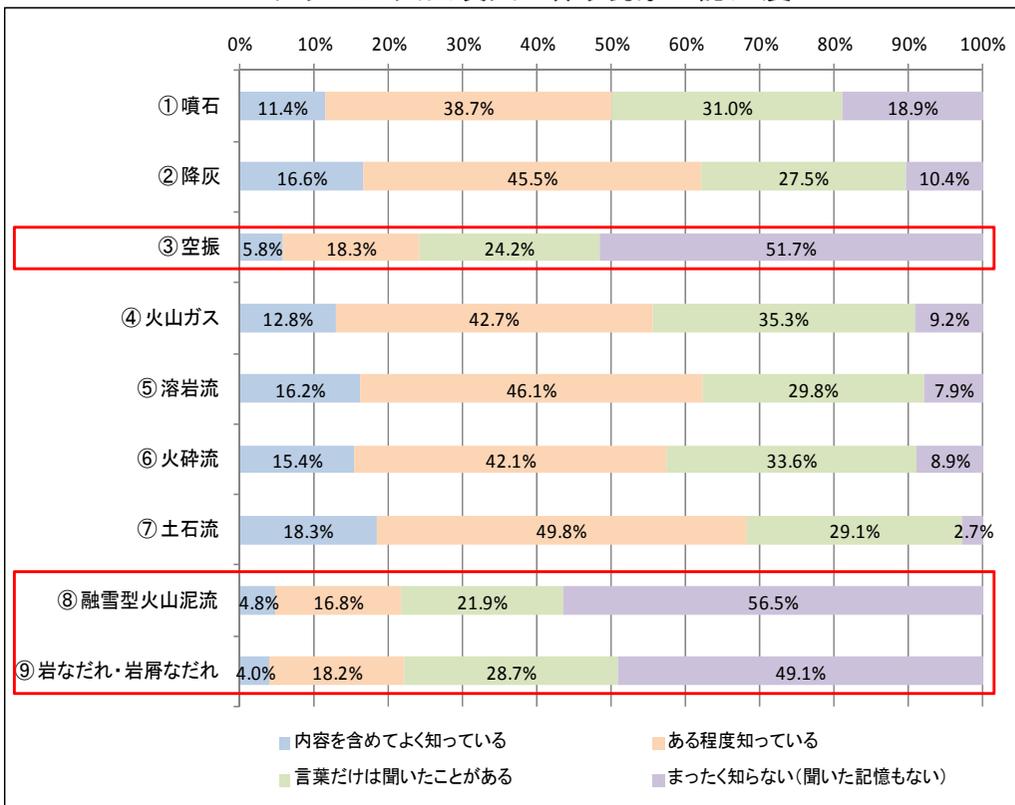
問5：火山が噴火した際には、おもに下記の9つの現象が起こる可能性があります。この言葉についてどの程度ご存じですか？

- ・内容を含めてよく知っている
- ・ある程度知っている
- ・言葉だけは聞いたことがある
- ・まったく知らない（聞いた記憶もない）

〈それぞれ1つずつ回答〉

- 火山噴火に伴う現象の内、「空振」「融雪型火山泥流」「岩なだれ・岩屑なだれ」の認知度が低い。

グラフ8. 火山噴火に伴う現象の認知度



■警戒が必要な火山

問8：（3火山の位置と火口から4km圏を示したうえで）あなたのお住まいの地域は、下記の3つの活火山のうち、どれに警戒が必要だと考えますか？

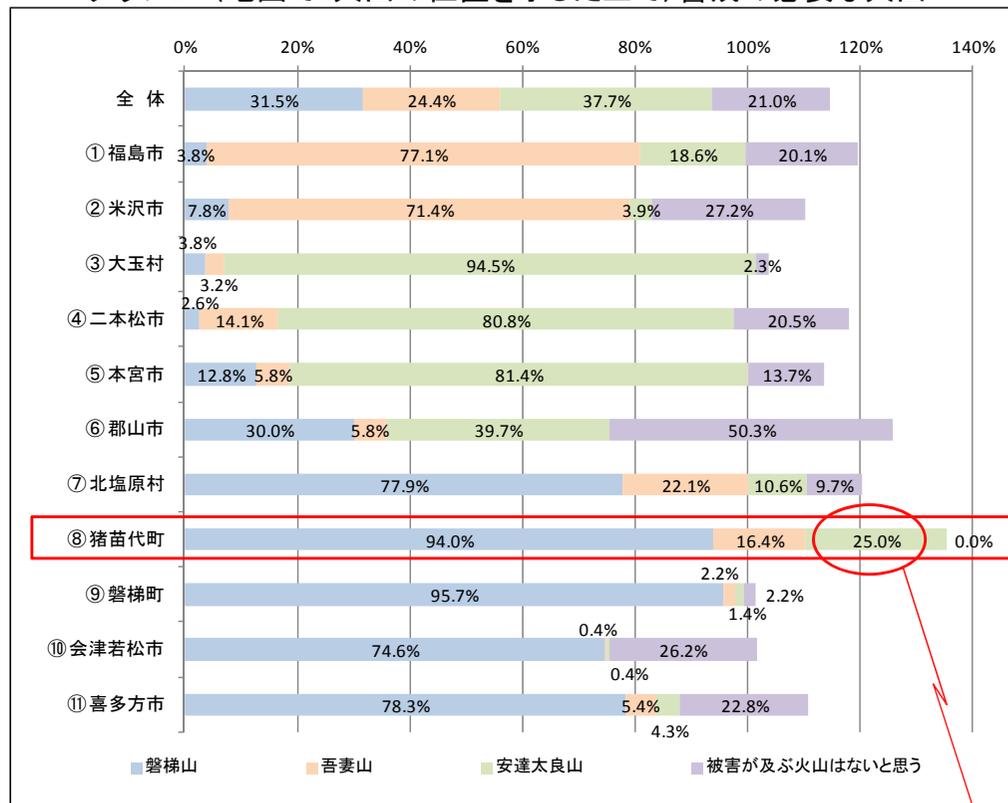
- ・磐梯山
- ・吾妻山
- ・安達太良山
- ・被害が及ぶ火山はないと思う



〈複数回答可〉

- 各市町村とも最寄火山（見える火山）以外の近接火山に対して警戒意識を有している人は少ない。
- 猪苗代町は、安達太良山のハザードマップの危険区域がかかるが、その認識は低い。

グラフ9. (地図で3火山の位置を示した上で)警戒の必要な火山



安達太良山からの融雪型火山泥流の危険区域も猪苗代町にかかる

2.集計・分析結果

・吾妻山・安達太良山・磐梯山周辺地域における火山噴火に対する「意識」「知識」「備え」の現状

■参加してもよい取組

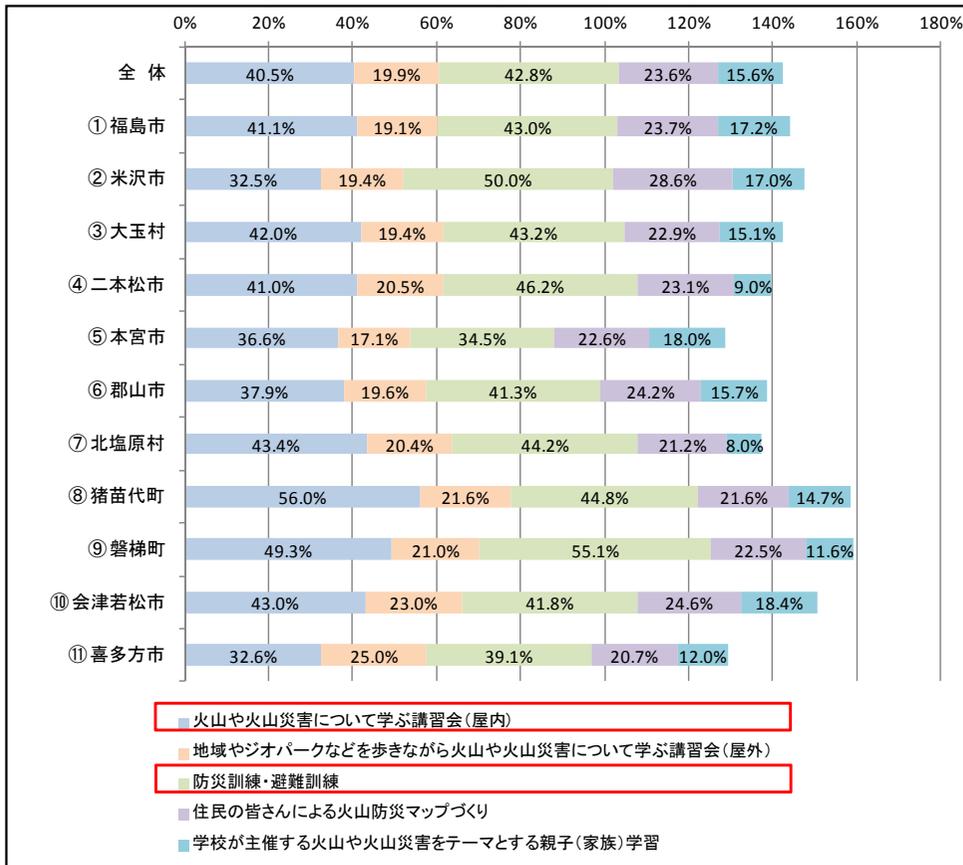
問9：火山噴火に備えた取り組みの中で、あなたが参加してもよいと思う取り組みがありますか？

- ・火山や火山災害について学ぶ講習会（屋内）
- ・地域やジオパークなどを歩きながら火山や火山災害について学ぶ講習会（屋外）
- ・防災訓練、避難訓練
- ・住民の皆さんによる火山防災マップづくり
- ・学校が主催する火山や火山災害をテーマとする親子（家族）学習

<複数回答可>

- 参加してもよい取組については、「避難訓練・防災訓練」、「屋内講習会」が上位となった。

グラフ10. 参加してもよいと思う取り組み（市町村別）



■緊急減災対策砂防計画の認知度

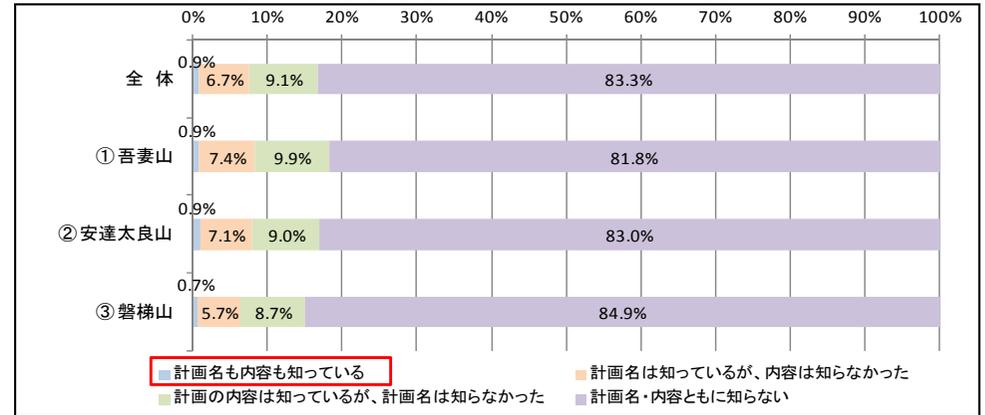
問10：あなたは火山噴火緊急減災対策砂防計画をご存じですか？

- ・計画名も内容も知っている、
- ・計画名は知っているが、内容は知らない
- ・内容は知っているが、計画名は知らない、
- ・計画名も内容も知らない

<1つ回答>

- 緊急減災対策砂防計画の認知度は極めて低い

グラフ11. 緊急減災対策砂防計画に対する認知度（3火山別）



問11：緊急減災対策にご協力いただけますか？（土地の借り受けや通行規制等）

- ・積極的に協力したい、
- ・内容によっては協力したい
- ・協力できるかわからない、
- ・協力はできない

<1つ回答>

- 緊急時の協力意向は高い傾向にある。

グラフ12. 緊急減災対策砂防計画に対する協力意向（3火山別）

